

# 付録 1. 着手前要求確認フレームワーク (1/2)

仕様分類の考え方	
意図する仕様	A
提示されていないが、合理的に予想可能な仕様	B
予想できなかった仕様のうち、本来の目的から逸脱した異常・不適切な仕様	C

★ Who, When, Where の行を追加する際は、「★」のある行で「挿入」操作を行うと便利です。(罫線や網掛けが乱れません)

No.	5W1H	観点	①INPUTを確認した結果/ ②抜け漏れとして想定すべきこと	仕様分類		備考/コメント (関係者と合意したこと、理由などを記載)
				INPUT	レビュー時 合意	
1	What	何をする製品/サービスか？				
2	Who	誰(どのシステム)が使う(使われる)か？ → 区分・パラメータ シート参照	1			
			2			
			3			
3	When	いつ利用する(利用される)か？ → 区分・パラメータ シート参照	1			
			2			
			3			
4	Where	どこで使う(使われる)か？ / どんな状況で使う(使われる)か？ → 区分・パラメータ シート参照	1			
			2			
			3			

# 付録 1. 着事前要求確認フレームワーク (2/2)

仕様分類の考え方	
意図する仕様	A
提示されていないが、合理的に予見可能な仕様	B
予見できた仕様のうち、本来の目的から逸脱した異常・不適切な仕様	C

★ Who, When, Where の行を追加する際は、「★」のある行で「挿入」操作を行うと便利です。(罫線や網掛けが乱れません)

No.	5W1H	観点		仕様分類	備考/コメント (関係者と合意したこと、理由などを記載)	
		INPUT	レビュー時 合意			
5	How	どのように使う (使われる) か？		① INPUTを確認した結果/ ② 抜け漏れとして想定すべきこと  ユーザーズを列挙する (インプット資料から読み取れるもの、レビューで指摘したもの)  (5.2) どうする		
		ID	#			
		A	開発中			
		B	生産			
		C	出荷検査			
		D	輸送 (工場→倉庫)			
		E	受入検査			
		F	輸送 (倉庫→店舗/オフィス)			
		G	設置/据え付け			
		H	準備			
		J	操作			
		K	使用			
		L	使用終了			
		M	保管			
		N	保守			
		P	修理			
		Q	回収			
		R	廃棄			
		A	開発中			
		B	テスト			
		C	リリース			
D	デプロイ					
E1	使用 (通常自)					
E2	使用 (災害時)					
F	運用					
G	移行					
H	メンテナンス					
J	バージョンアップ					
K	運用終了 (廃止)					
6	Why	何のために製品/サービスを作るのか？ <small>この製品/サービスは、お客様にどのような価値やアウトカムを提供するのか？</small>				

- ※ ライフサイクルの各段階/フェーズは必要に応じて追加/削除して利用してください。
- ※ ライフサイクルの ID 欄の使用は任意です。Howの欄が増えた時に、ID 欄にフルアバットや数字を割り振っておくと、A1, B2のように各行を識別する際に便利です。
- ※ ライフサイクルは、時系列順に並べておくイメージしやすいです。
- ※ デバイス用とサービス/アプリ用の部分は、同時に使うことが無ければ不要なものを削除していただいても構いません。

## 付録2. 「区分・パラメータ」シート (1/4)

UXD (User Experience Design) でいうところのペルソナの属性に当たる部分を、本論文では区分 (segment) として、人だけでなくシステム、いつ、どこで、どのような状態で…の分け方の切り口を記載している。ここに挙げた区分やパラメータはあくまでも例であり、製品/システムの特徴に合わせて、それぞれ変更して利用してください。

採否欄 (D 列) は、同様な区分を選択するとパラメータが重複するケースがありますので、レビューのコメントがどの区分を採用/不採用とするのか明示が必要な時に○/×で指定します。

【アドバイス】

1. 「区分・パラメータ」シートは参照するだけのものではなく、貴社にて維持・更新などのメンテナンスを心がけてください。
2. 区分およびパラメータの例を充実させることで、「誰が・いつ・どこで」どのような状況で「をそれぞれ想定できるパターンが増え、経験の少ないレビューアでも異なる観点の存在に気づく可能性が高まります。

### 2 Who 誰 (どのシステム) が使う (使われる) か？

※ ユーザ像(システム像) をイメージする際の観点の例

採否	No.	区分 (Segment)	パラメータ (Parameter)
○	1	対象者	購入者, 所有者, 開発担当, 生産担当, 品質担当, ...
	2	接続相手	ユーザ(人間), ○○ API, △△プロトコル, ボット, ...
	3	利用者	社員, 承認者, 代理入力者, 庶務担当, システム管理者, ...
	4	利用者 (ECサイト)	登録済ユーザ, ゲストユーザ, クラッカー, 同業他社のエンジニア, 保守担当者, コールセンター担当者, ...
	5	性別	男, 女
○	6	性別 (LGBT対応)	Male, Female, Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Queer, Other
○	7	年代	19歳以下, 20~59歳, 60歳以上
	8	年齢層	C, T, M1, M2, M3, F1, F2, F3
	9	身長	100cm未満, 100~150cm未満, 150~200cm未満, 200cm以上
	10	体重	20kg未満, 20~100kg未満, 100kg以上
	11	利き腕	右, 左
	12	身体的特徴	視覚障害あり, 聴覚障害あり, ...
	13	職業	学生, 会社員, ソフトウェアエンジニア, ...
	14	語学能力	日本語を理解する, 英語を理解する, ...
○	15	ITリテラシー	スマホの操作ができる, スマホの操作ができない, ...
	16	経験 (イクスピアリエンス)	初めて使う, 既存品・旧版を利用したことがある, 類似品・他社品を使用したことがある, ...
	17	習熟度合	指導者レベル, 中級レベル, 初心者レベル, 未経験, ...
	18	最終学歴	在学中, 高校, 専門学校, 大学, 大学院, その他
	19	ソフトウェア	開発するシステム, 連携するシステム,
	20	DBエンジン	Access, Oracle, SQL-Server, PostgreSQL, DB2, MySQL, ...
	21	サーバ	IIS, Coldfusion, SilverStream, Tomcat, WebLogic, Oracle Application Server, WebSphere, ...
	22	コンピュータの形態	サーバ機, デスクトップ, ノート型, タブレット, スマートフォン, ...

★

## 付録2. 「区分・パラメータ」シート (2/4)

UXD (User Experience Design) であろうところのペルソナの属性に当たる部分を、本論文では区分 (segment) として、人だけでなくシステム、いつ、どこで、どのような状態で…の分け方の切り口を記載している。ここに挙げた区分やパラメータはあくまでも例であり、製品／システムの特徴に合わせて、それぞれ変更して利用してください。

採否欄 (D 列) は、同様な区分を選択するとパラメータが重複するケースがありますので、レビューのコーディネータがどの区分を採用／不採用とするのか明示が必要な時に○／×で指定します。

【アドバイス】

1. 「区分・パラメータ」シートは参照するだけのものではなく、貴社にて維持・更新などのメンテナンスを心がけてください。
2. 区分およびパラメータの例を充実させることで、「誰が・いつ・どこで」どのような状況で」をそれぞれ想定できるパターンが増え、経験の少ないレビューアでも異なる観点の存在に気づく可能性が高まります。

### 3 When いつ利用する (利用される) か？

採否	No.	区分 (Segment)	パラメータ (Parameter)
	1	頻度	毎日、週に1度、月に1度、…
	2	時間帯	朝、昼、夜、深夜(未明)
	3	実行タイミング	呼び出し時、日時、週次、月次、アラート時、エラー時
	4	計測タイミング	診察時、検診時、自宅で任意に、…
○	5	終了タイミング	スケジュールシャットダウン、手動操作時、電断時 (UPSバックアップ切り替え時)、…
	6	リリースタイミング	初回リリース、n回目リリース、最終リリース
	7	DBトリガ	データ更新時、データ移行時、強制実行
	8	更新時	DBレコード更新時、○○セルの更新時、…
	9	バックアップ	サーバ構成変更時、毎日、…
	10	運用状況	平常時、災害時、大規模災害時、…
	11	検査	生産ライン上、出荷検査、抜き取り検査、受け入れ検査、修理受付時、…
	12	利用シーン	実店舗での買い物時、オンラインバンキング利用時、自動引き落とし時、…
	13	利用シーン	発熱時、子供の体調の異変を感じた時、子供の就寝中、…
	14	特異日	5・10日、月末、月初、期末、年度末、…
	15	使われ方	リアルタイム処理、バッチ処理、…

★

## 付録 2. 「区分・パラメータ」シート (3/4)

UXD (User Experience Design) であろうところのペルソナの属性に当たる部分を、本論文では区分 (segment) として、人だけでなくシステム、いつ、どこで、どのような状態で…の分け方の切り口を記載している。ここに挙げた区分やパラメータはあくまでも例であり、製品／システムの特徴に合わせて、それぞれ変更して利用してください。

採否欄 (D 列) は、同様な区分を選択するとパラメータが重複するケースがありますので、レビューのコーディネータがどの区分を採用／不採用とするのか明示が必要な時に○／×で指定します。

【アドバイス】

1. 「区分・パラメータ」シートは参照するだけのものではなく、貴社にて維持・更新などのメンテナンスを心がけてください。
2. 区分およびパラメータの例を充実させることで、「誰が・いつ・どこで・どのような状況で」をそれぞれ想定できるパターンが増え、経験の少ないレビューアでも異なる観点の存在に気づく可能性が高まります。

### 4 Where どこで使う (使われる) か? / どんな状況で使う (使われる) か?

#### 4.1 【場所】

採否	No.	区分 (Segment)	パラメータ (Parameter)
	1	国や地域	日本, 北米, 欧州, ...
	2	地域	北海道, 東北, 関東, 中部, 近畿, 中国, 四国, 九州・沖縄
	3	建物の内外	屋内, 屋外
	4	職場	オフィス, 実験室, データセンター, 工場, 畑, 田んぼ, ...
	5	空間	会社の中, 車の中, 飛行機の中, 船の中, ...
	6	空間 (垂直方向)	地下, 1F, 2F, ..., 屋上, ...
	7	空間 (自宅内)	リビング, 台所, 浴室, 洗面所, 玄関, ...
	8	測定部位	わき, 口中, 耳, おでこ, ...
	9	稼働OS	Windows, Mac, Linux, iOS, Android, ...
	10	Windowsの種類	XP, VISTA, 7, 8/8.1, 10, Embedded Windows 7, Windows Server 2012, ...
	11	クラウド	AWS, Azure, GCP, ...
	12	ブラウザ	IE, Chrome, Safari, Firefox, ...
	13	動作環境	開発環境, ステージング環境, 商用環境, バックアップ環境, ...
	14	動作プラットフォーム	オンプレミス, PaaS, IaaS, クラウド, ...
	15	バックアップ先	NAS, クラウド, 内蔵HDD, 外付けHDD, テープ装置, ...

★

## 付録2. 「区分・パラメータ」シート (4/4)

UXD (User Experience Design) であろうところのペルソナの属性に当たる部分を、本論文では区分 (segment) として、人だけでなくシステム、いつ、どこで、どのような状態で…の分け方の切り口を記載している。ここに挙げた区分やパラメータはあくまでも例であり、製品／システムの特徴に合わせて、それぞれ変更して利用してください。

採否欄(D列)は、同様な区分を選択するとパラメータが重複するケースがありますので、レビューのコーナーがどの区分を採用／不採用とするのか明示が必要な時に○／×で指定します。

【アドバイス】

1. 「区分・パラメータ」シートは参照するだけのものではなく、貴社にて維持・更新などのメンテナンスを心がけてください。
2. 区分およびパラメータの例を充実させることで、「誰がいつどこでどのような状況で」をそれぞれ想定できるパターンが増え、経験の少ないレビューアでも異なる観点の存在に気づく可能性が高まります。

### 4 Where どこで使う (使われる) か? / どんな状況で使う (使われる) か?

#### 4.2 【状況】

採否	No.	区分 (Segment)	パラメータ (Parameter)
	1	温度	0℃未満, 0~40℃, 40℃超え
	2	湿度	30%RH未満, 30~95%RH, 95%RH超え
	3	電力周波数	50Hz, 60Hz, その他, …
	4	気候帯	熱帯, 亜熱帯, 温帯, 寒帯, …
	5	姿勢	座っている, 立っている, 寝ている, 寝そべっている, …
	6	振動の影響	なし, 線路沿い, …
	7	残業状況	無し, ~10時間以内, ~40時間以内, …
	8	習熟状況	指導者レベル, 中級レベル, 初心者レベル, 未経験, …
	9	作業場所の雰囲気	和やか, 殺伐, ミスが許されない, うるさい, …
	10	照明	なし, 暗い, 明るい, まぶしい, …
	11	入手経路 (製品)	量販店で購入, 街の電気屋さんから購入, ECサイトから購入, オークションで入手, 知人から譲渡, …
	12	入手経路 (ソフトウェア)	DVD等のインストールメディア, ネット上からダウンロード, USBメモリ, …
	13	CPU利用状況	10%未満, 50%未満, 90%未満, …
	14	メモリ利用状況	10%未満, 50%未満, 90%未満, …
	15	ネットワーク接続環境	有線LAN, Wi-Fi (2.4GHzのみ), Wi-Fi (2.4GHz / 5GHz), …
	16	時差有無	あり, なし, +9H, …
	17	サマータイム有無	あり, なし
	18	運用状況	平常時, 災害時, 大規模災害時, …
	19	冗長化	なし, シングルAZ, マルチAZ, …
	20	バックアップ方法	フルバックアップ, 差分バックアップ, 増分バックアップ, …

★

# 付録3. NLR法の実施手順 (1/7)

手順 準備	詳細 上流工程の成果物を入力する。																			
I. 資料の入手	<p>1 上流工程の成果物（要求仕様書など、お客様からの要求を記載した文書）を入手する。</p> <p>上流工程の成果物に記載されている要求内容をフレームワークに当てはめて整理する。</p>																			
II. 要求の整理	<p>1 インプット資料を読み、何をする製品／サービスのここが書かれているのかをWhatの欄に記入する。</p>																			
	<p>記入例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>SWI/H</th> <th>観点</th> <th>①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと</th> <th>仕分け分類</th> <th>備考/コメント</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>INPUT</td> <td>レビュー時 合意</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>What</td> <td>何をする製品／サービスか？</td> <td>BLE通信機能付き IoT筐体中継</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント					INPUT	レビュー時 合意	1	What	何をする製品／サービスか？	BLE通信機能付き IoT筐体中継			
No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント															
				INPUT	レビュー時 合意															
1	What	何をする製品／サービスか？	BLE通信機能付き IoT筐体中継																	
2	<p>インプット資料の中から、誰(どのシステム)が使っているのかを、Whoの欄に記入する。(※1)</p> <p>※1 資料中に登場していることから、これらの人(システム)が利用する(される)ことは想定しているので、仕分け分類のINPUT欄にはAを記入する。</p>																			
	<p>記入例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>SWI/H</th> <th>観点</th> <th>①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと</th> <th>仕分け分類</th> <th>備考/コメント</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>INPUT</td> <td>レビュー時 合意</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>Who</td> <td>誰(どのシステム)が使っている(使われる)か？ → 区分/ラマータ ラート参照</td> <td>1 利用者(身体的特徴は問わず、購入者は問わない) 2 生産担当者 3 修理担当者</td> <td>A A A</td> <td>(関係者と合意した点、理由などを記載)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント					INPUT	レビュー時 合意	2	Who	誰(どのシステム)が使っている(使われる)か？ → 区分/ラマータ ラート参照	1 利用者(身体的特徴は問わず、購入者は問わない) 2 生産担当者 3 修理担当者	A A A	(関係者と合意した点、理由などを記載)	
No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント															
				INPUT	レビュー時 合意															
2	Who	誰(どのシステム)が使っている(使われる)か？ → 区分/ラマータ ラート参照	1 利用者(身体的特徴は問わず、購入者は問わない) 2 生産担当者 3 修理担当者	A A A	(関係者と合意した点、理由などを記載)															
3	<p>インプット資料の中から、いつ使う(使われる)のかを、Whenの欄に記入する。(※1)</p>																			
	<p>記入例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>SWI/H</th> <th>観点</th> <th>①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと</th> <th>仕分け分類</th> <th>備考/コメント</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>INPUT</td> <td>レビュー時 合意</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>When</td> <td>いつ利用する(利用される)か？ → 区分/ラマータ ラート参照</td> <td>1 学習時 2 検査実行時 3 修理実行時 4 夜間(朝早い場所) 5 昼間(朝早い場所)</td> <td>A A A A A</td> <td>(関係者と合意した点、理由などを記載)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント					INPUT	レビュー時 合意	3	When	いつ利用する(利用される)か？ → 区分/ラマータ ラート参照	1 学習時 2 検査実行時 3 修理実行時 4 夜間(朝早い場所) 5 昼間(朝早い場所)	A A A A A	(関係者と合意した点、理由などを記載)	
No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント															
				INPUT	レビュー時 合意															
3	When	いつ利用する(利用される)か？ → 区分/ラマータ ラート参照	1 学習時 2 検査実行時 3 修理実行時 4 夜間(朝早い場所) 5 昼間(朝早い場所)	A A A A A	(関係者と合意した点、理由などを記載)															
4	<p>インプット資料の中から、どこで、どのような状況で使う(使われる)のかを、Whereの欄に記入する。(※1)</p>																			
	<p>記入例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>SWI/H</th> <th>観点</th> <th>①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと</th> <th>仕分け分類</th> <th>備考/コメント</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>INPUT</td> <td>レビュー時 合意</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>Where</td> <td>どこで使う(使われる)か？ / どんな状況で使う(使われる)か？ → 区分/ラマータ ラート参照</td> <td>1 屋内、および屋外 2 製造ライン 3 修理受付窓口 4 日本国内(日本の電波法の影響範囲内) 5 地域・台間などの災害下</td> <td>A A A A A</td> <td>(関係者と合意した点、理由などを記載)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント					INPUT	レビュー時 合意	4	Where	どこで使う(使われる)か？ / どんな状況で使う(使われる)か？ → 区分/ラマータ ラート参照	1 屋内、および屋外 2 製造ライン 3 修理受付窓口 4 日本国内(日本の電波法の影響範囲内) 5 地域・台間などの災害下	A A A A A	(関係者と合意した点、理由などを記載)	
No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果／②抜け漏れとして認定すべきこと	仕分け分類	備考/コメント															
				INPUT	レビュー時 合意															
4	Where	どこで使う(使われる)か？ / どんな状況で使う(使われる)か？ → 区分/ラマータ ラート参照	1 屋内、および屋外 2 製造ライン 3 修理受付窓口 4 日本国内(日本の電波法の影響範囲内) 5 地域・台間などの災害下	A A A A A	(関係者と合意した点、理由などを記載)															





# 付録3. NLR法の実施手順 (3/7)

手順

詳細

## 6 インプット資料の中から、製品/ライサイクル内のイベントを時系列順に

### How 欄の「誰が」と「どうする」の列に書き出す。(※2) (※3)

※3 「どうする」を書き出す際、本文に改行符がある場合は、本文に分割する。

例) ユーザは○○をし、××を行う。

(1) ユーザは、○○を行う。

(2) (1)に続いて、ユーザが、××を行います。

上記のような情報が一般的に提供されますが、実は下記(2)を意図していた可能性があるかも知れません。

(2) ユーザは(1)と同時に××を行う。

本文に分ける際、「～」に続いて、あるいは「～」と同時に「～」に間接性を補う語句を追加すると、認識の不一致が見つかることがあります。

記入例

No.	SWI/H	観点	①INPUTを確認した結果/②抜け漏れとして認定すべきこと	仕様分類	備考/コメント
5	How	どのように使(使われる)か?	①INPUTを確認した結果/②抜け漏れとして認定すべきこと (インプット資料から読み取れるもの、レビューで指摘したもの) (5.2) どうする	INPUT レビュー時	(関係者に依頼した点、理由および記載)
		ID (5.1) ライサイクル	#		
		A 開発中			
		B 生産	1 生産用ソフトウェアを使って、基板の検査を行う。	A	
		C 出荷検査			
		D 輸送(工場→倉庫)			
		E 変入検査			
		F 輸送(倉庫→店舗/オフィス)			
		G 設置/振込付け			
		H 準備			
		J 操作	1 懐中電灯とスマホのペアリングを行う。	A	
		K 使用	1 電源スイッチを押して、ライトを点ける。	A	
		L 使用終了	2 スマホアプリからの遠隔操作で、ライトを点ける。	A	
			1 電源スイッチを押して、ライトを消す。	A	
			2 スマホアプリからの遠隔操作で、ライトを消す。	A	
		M 保管			
		N 保守	1 LED電球を交換する。	A	
		P 修理	1 電源スイッチを押して、ライトが点くのを確認する。	A	
		Q 回収			
		R 廃棄	1 自治体のルールに従って、懐中電灯を廃棄する。	A	





# 付録3. NLR法の実施手順 (6/7)

## 手順

### 詳細

#### 4 「誰が」、「いつ」、「どこで」、「どのような状況で」、「どの観点で」の観点を深掘した後、同様にライフサイクルの段階ごとに「誰が」、「どこで」、「どのような状況で」を、集合レビューの場で確認して追記する。(※9)

※9 各ライフサイクルにおいて、「誰が」を本来のユーザー/クライアント以外の人/システムに入れ替えてみると、もしかしたらあり得るケースが見えてくるかもしれません。(特に特定関係者しか使わないと思われる運用 → 関係者が使わないという思い込みから) 例えば、修理担当者が市場(フィールド)で臨時的に確認するために、コマンドを使うことは通常使用として想定されていますが、ゲーム機等でもよくあるように、ユーザーが同じコマンドを打つてしまったことがあつた。動作状態を表示するだけであれば、同じコマンドを使われても影響は大きくありませんが、設定を変えたりするものは、ユーザーに同じに変更できないような同等のブローカー/手段を入れておくことが必要と一般的には考えられます。ユーザーによる他のコマンドの操作が及びない = 使用分限Cと判断するか、「あつた」 = 使用分限Bと判断するか、プロトコルのための処理の追加や、コマンドの複雑化などの追加 (=現在考慮されていない機能)が必要かの判断が変わります。

「いつ」、「どこで」、「どのような状況で」も基本的に同じことが言えます。

特定のタイムゾーン、場所、状況でしか使わないはず... という思い込みが、仕様段階の存在をマスキしてしまうことがあります。(「...はず」は、仕様段階Bの存在を消すことになる) 例) 社内LANの内部からしか使わない(はず)、モータードライブが動いていない(はず)、ドレインク受給機の人が使わない(はず)等

記入例

No.	SW/H	観点	① INPUTを確認した結果/②抜け漏れとして敬定すべきこと	仕様分類	備考/コメント
5 How		どのような時に(使われる)か?	ユーザーを列挙する(INPUT)が資料から取り取れるもの、レビューで指摘したもの	INPUT   レビュー時   合意	(関係者と合意した点、理由(後追記))
	A	開発中	(5.1) ライフサイクル # (5.2) 誰が (2)のシステムが 開発担当者 が		
	B	生産	生産担当者 が	A	
	C	出荷検査			
	D	輸送 (工場→倉庫)			
	E	受入検査			
	F	輸送 (倉庫→店舗/オフィス)			
	G	設置/梱包/付			
	H	準備			
	J	操作	1 使用中 が	A	
	k	使用	1 電源スイッチを押して、ライトを点ける。 2 スマートアプリからの遠隔操作で、ライトを点ける。	A	
			3 海外で、電源スイッチを押してライトを点ける。(電源を使っていないのでOK)	B	
			4 海外で、スマートアプリからの遠隔操作で、ライトを点ける。(電波法違反の可能性あり)	C	
			5 電源スイッチを押して、ライトを点ける。	B	
			6 閉じ込めを使って、簡単に自己診断を行う。	C	
	L	使用終了	1 電源スイッチを押して、ライトを消す。 2 スマートアプリからの遠隔操作で、ライトを消す。	A	
			3 海外で、電源スイッチを押してライトを消す。(電源を使っていないのでOK)	A	
			4 海外で、スマートアプリからの遠隔操作で、ライトを消す。(電波法違反の可能性あり)	B	
			5 電源スイッチを押して、ライトを消す。	B	
	M	保管			
	N	保守	1 LED点検を交換する。	A	
	P	修理	1 電源スイッチを押して、ライトが点く確認する。 2 閉じ込めを使って、簡単に自己診断を行う。	A	
	Q	回収			
	R	廃棄	1 自治体のルールに従って、廃中電灯を廃棄する。	A	

※ お客と集合前であっても、メモとして残しておく必要はありますが、必要があれば、報告時に書き換えてください。

※ アプリ側で海外では使用できないことをボタン/ディスプレイ表示が必要!

※ 閉じ込めには気づかないと判断した

※ 市場(フィールド)での簡易的な確認モード

